

PIC エミュレータ学習用ボード TGT-1

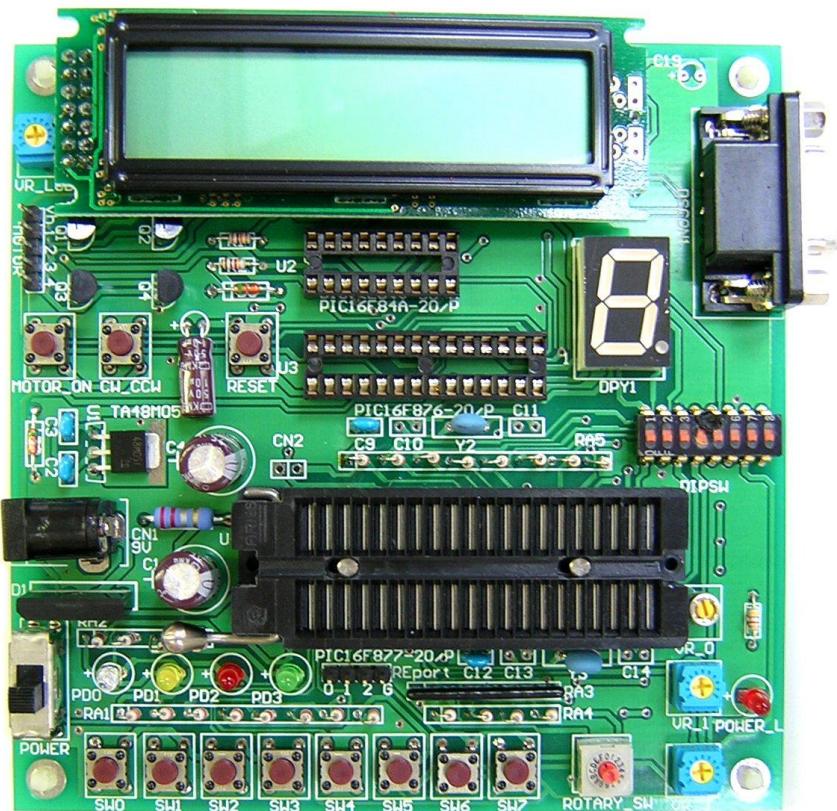
MITAKA DENKO

PIC16F84A, PIC16F867 & PIC16F877 (Microchip Technology 社製) 機能のそれぞれを本ボード 1 枚で学習できます。

(実デバイス PIC16F84A, PIC16F867 & PIC16F877 による動作も勿論可能です)

★ 入出力デバイス (9 種類)

- ・押しボタンスイッチ (8 ビット分、MOTOR_ON & CW_CCW)
- ・8 ビット DIP スイッチ
- ・16 進ロータリースイッチ
- ・AD コンバータ用可変抵抗器 (3 チャンネル分)
- ・青・黄・赤・青 LED
- ・7 セグメント LED ディスプレイ
- ・ステッピングモータ
- ・RS232C インターフェース
- ・液晶ディスプレイ



★ 外形寸法 117×117×30mm

★ 付属品

- | | | |
|--------------------|---------|-----|
| ・AC アダプタ | 9V 1.2A | 1 個 |
| ・液晶ディスプレイ | | 1 個 |
| ・2 相ユニポーラステッピングモータ | | 1 個 |
| ・ユーザマニュアル | | 1 部 |

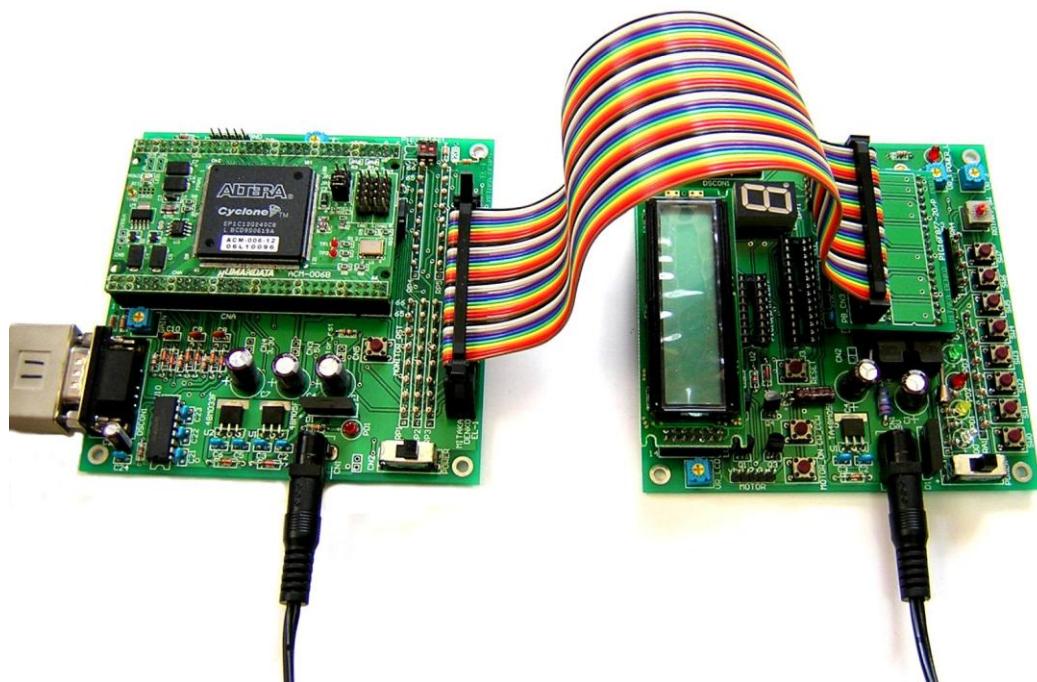
PIC エミュレータ & ロジックアナライザ EL-1 による TGT-1 動作テスト手順

ハード準備 (下写真参照)

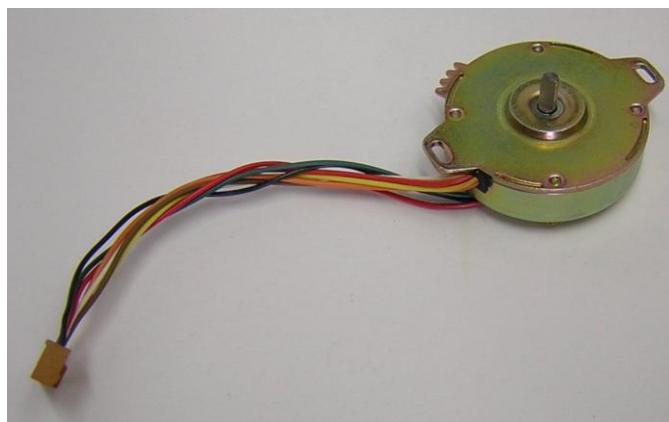
- ① EL-1、TGT-1 各ボードに AC アダプタを接続。
- ② EL-1 にデバッグ用パソコンからの RS232C ケーブルコネクタを接続。
- ③ テスト PIC に相当するプローブ基板+プローブ用ケーブルを適合する IC ソケットに挿入。
- ④ EL-1、TGT-1 の順に POWER スイッチを投入します。

デバッガ準備 (EL-1 カタログ参照)

- ① 通信ポート設定、PIC 機種をラジオボタンにより選択。
- ② 解析プログラム設定・ロード、そして実行。
- ③ プログラム実行又は画面切換えてトレース、レジスタ確認・操作、ブレークポイント設定。
- ④ ロジックアナライザはアドレス決定後、プログラムスタート、ロジックアナライザスタート。



ハード接続



ステッピングモータ

MITAKA DENKO

三鷹電工所

〒113-0033

東京都文京区本郷 3-36-10

TEL & FAX 03-3812-0070

<http://www.mitakadenko.com>